

船橋市立医療センターNews No.39

●発行年月日/平成31年1月1日 ●編集/船橋市立医療センター広報委員会 ●発行責任者/院長 丸山 尚嗣
〒273-8588 船橋市金杉1-21-1 ☎047-438-3321(代) <http://www.mmc.funabashi.chiba.jp>



「富士山」当院職員撮影



平成31年 新年を迎えて

船橋市立医療センター院長 丸山 尚嗣

明けましておめでとうございます。昨年の日本は、大地震、大型台風、豪雨などの自然災害にたて続けに見舞われた年でした。この周辺地域は大きな被害を受けませんでした。今後いつ何時災害に襲われるか予測が付きません。当院は災害拠点病院として、災害時の事業継続計画BCP（自然災害、事故、テロ等の予期せぬ緊急事態に遭遇した場合に、重要業務に対する被害を最小限にとどめ、最低限の事業活動の継続、早期復旧を行うために事前に策定する行動計画）を策定しました。また当院のDMAT（災害医療支援チーム）も被災地での救援活動や災害に備えた訓練・準備に励んでいます。今年は災害の無い穏やかな1年になることを心から祈っていますが、一人ひとり、各家庭あるいは職場で、いざという時のための対策を怠らないことが肝要です。

さて当院では昨年10月より、内科の専門分野のひとつである腎臓内科、リウマチ科が新設されました。既に4月からは脳神経内科も常勤医が勤務しており、当院の診療の幅が広がっています。複数の病気をかかえる高齢の方が増えている昨今、病院の診療の幅が広がることは患者さんと医療従事者双方に大きなメリットがあると思います。当院は診療科間の垣根が低い、各科が互いに協力しやすい病院だという声を、他院から転勤してきた医師からもよく聞きます。今後もこの長所を生かして、患者さんのためにチーム医療を推進していきたいと思います。

目次

特集 腎臓病、関節リウマチ、膠原病の診療についてご紹介します…2	
新型放射線治療装置が本格稼働……………3	
医療安全の標語で優秀賞を受賞/当院ボランティア 2名が表彰/全国自治体病院学会in福島 ……4	
当院の受診の流れ/研修医のつばやき……………5	

医療を学ぼう！in 図書館/第36回 公開医療講座/ 次回のお知らせ……………6	
救命救急センター24時/平成30年度 成果発表会/職員募集…7	
外来担当医師一覧表……………8	

特集

腎臓病、関節リウマチ、膠原病 の診療についてご紹介します



平成30年10月より腎臓内科に関する疾患や、関節リウマチ・膠原病の診療を担当させていただきます清水英樹と申します。

1年前に船橋へ参り、セコメディック病院での勤務を経て船橋市立医療センターに赴任しました。

それ以前に所属しておりました東京慈恵会医科大学、東京大学医学部附属病院や杏林大学医学部附属病院などで学んだことを船橋市を含めた地域の方に貢献したいと考えております。

腎臓内科に関連する主な疾患は慢性腎臓病、急性腎機能障害、電解質異常、慢性糸球体腎炎、ネフローゼ症候群などです。

関節リウマチや膠原病に関連する主な疾患は全身性エリテマトーデス、血管炎（顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症、巨細胞性動脈炎、結節性多発動脈炎）、全身性強皮症、皮膚筋炎/多発性筋炎、シェーグレン症候群、リウマチ性多発筋痛症、ベーチェット病、成人スチル病などです。

腎臓内科に関する疾患や関節リウマチ・膠原病は全身の臓器障害と関係が深い内科分野です。膠原病は自己免疫疾患という括りに該当し、免疫異常があることで多彩な臓器障害を引き起こします。免疫は通常、異物に対応する正常な反応ですが、膠原病では免疫が過剰になり自分自身が攻撃されます。中でも頻度の高い代表的な病気が関節リウマチです。一方、腎臓は重要臓器の一つであり尿をすることにより、体液と呼ばれる体内の水分や塩分を調整し、老廃物の排泄に関わります。さらに一部のホルモン産生や活性化などにも関わります。腎臓自体が直接障害される病気だけでなく、何かしらの臓器障害や、高血圧・糖尿病のような全身疾患が腎障害を引き起こす場合もあります。

今回はこれらの疾患についてもう少し具体的にご紹介します。

まずは腎臓病です。前述しましたように、腎臓は尿を作る臓器でネフロンという基本構造で行われます。この中心にある糸球体は、左右の腎臓に100万個ずつありその後に尿細管が続きます。この構造の破壊が腎障害として検査結果に表れますが、自覚症状は高度に障害されるまで通常見られません。早期発見のためには検査結果で評価する必要があります。また、このため、検査異常がある場合には自覚症状がなくても一度ご相談されることをおすすめします。実際に腎臓内科を受診する患者さんは、血尿や蛋白尿や腎臓機能障害を健康診断などで指摘される場合が大半であり、他の病気がかか

りつけの先生から腎障害を指摘される場合もあります。受診を勧められた患者さんはどうかご相談ください。

次にリウマチ・膠原病です。代表的な疾患である関節リウマチは関節滑膜を障害し、関節や骨の破壊を引き起こす病気です。膠原病は病気ごとに障害される臓器が異なり、発熱や皮疹や関節障害などの全身症状も伴いやすい病気です。免疫異常の有無と障害臓器を評価します。診断後の治療は過剰な免疫を抑える免疫抑制療法が中心になります。近年の免疫抑制療法は目覚ましく進歩しており、早期診断と早期治療を行うことが関節リウマチを含めた一部の膠原病を根治させる場合もありますので、かかりつけの先生から関節リウマチや膠原病を疑われた患者さんはご相談ください。

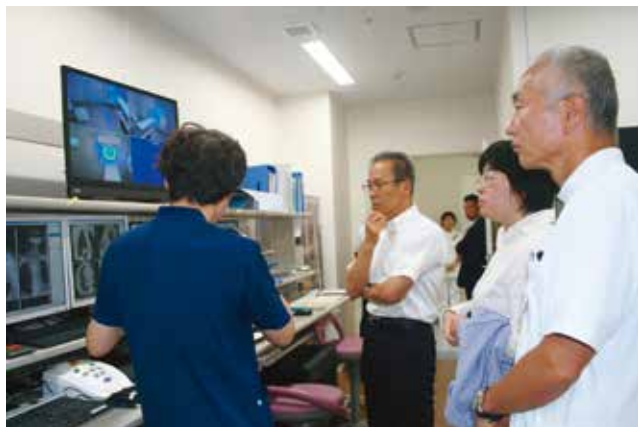
なお、血管炎や全身性エリテマトーデスなどのように、腎臓病を引き起こす膠原病もあります。このような患者さんには、腎臓内科に関係する病気に加え、関節リウマチや膠原病も診る内科医という立場で診療に関わりたいと思います。

扱う分野は多岐にわたり、専門医として介入すべきことに現状では限りがあります。そのためご要望に沿えないことがあるかもしれません。しかしながら、院内外を含めた各科・各部門と診療連携の強化や整備を図り、船橋の皆さんに貢献できるよう努めたいと思います。

新しい放射線治療装置が本格稼働！

平成30年3月に導入した新しい放射線治療装置を使用した定位放射線治療を9月から、強度変調放射線治療（IMRT）を11月から開始しました。放射線治療装置の本格稼働に先駆けて、松戸徹船橋市長と鈴木和美船橋市議会議長に新しい機器のお披露目を行いました。

市長と議長は装置の説明をじっくりと聞き、熱心



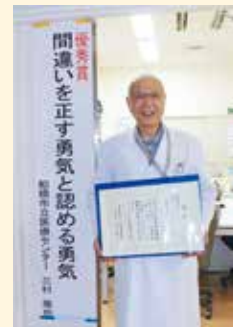
に質問をされていたようです。

新しい放射線治療装置では治療の対象となる疾患が増えることに加え、より正確な治療を行うことができます。また、7月からがん放射線療法看護認定看護師1名、10月から放射線治療医1名を増員し、人員の面でも体制が整いました。今後も診療体制の充実を図り、高度な医療を提供できるよう努めていきます。

三村雅也医療安全管理室長が 医療安全の標語で優秀賞を受賞!!

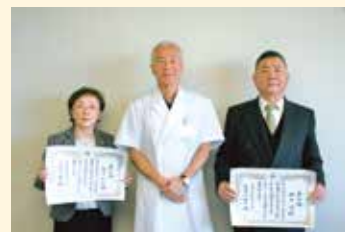
平成30年7月に千葉県看護協会が公募した「医療安全に関する標語」全1517作品の中から、三村雅也医療安全管理室長の作品が優秀賞に選定され、11月11日に開催された第14回医療安全大会にて表彰されました。

受賞した三村室長は「とても名誉のある賞を戴いて感激しています。優秀賞に選ばれた作品は“間違いを正す勇氣と認める勇氣”というものです。目上の医師や上司の間違いを真正面から正すのは場合によっては勇氣が必要ですし、反対に、医師や上司が自分の間違いを素直に認めることも人によっては勇氣のいることかも知れません。多職種間で分け隔てなく、また身分に関わらず意見を交わし合える風土を確立することは、医療安全にとって大切なことです。この標語はそのような思いを込めて創作しました。」と語りました。



当院ボランティアから2名が善行により表彰されました

市政の発展や、教育文化・福祉・産業などの振興に功績のあった方、善行により市民の模範となった方、390名・62団体への表彰式が平成30年11月3日に市民文化ホールで行われ、当院のボランティアとして活動されている根本毅さん、野津和子さんの2名が善行表彰を受けました。根本さんは6年10ヶ月、野津さんは7年3ヶ月の間、当院での活動を行っており、患者さんのご案内、病棟の飾りつけやハーブ演奏会の手伝いなどをしてくださっています。



今回の表彰について、根本さんは「このような賞をいただき、大変感謝しております。これからも病院ボランティアとして皆様のために活動していきたいと思っています。」と語られました。また、野津さんから「このような賞をいただき、本当に感謝しております。これからも患者さんの心に寄り添い、ボランティア活動に励んでいきたいと思っています。」とお言葉をいただきました。

全国自治体病院学会 in 福島に参加

平成30年10月18日～19日に第57回全国自治体病院学会が福島県郡山市で開催されました。当院からは一般演題15題を提出し、全国の自治体病院関係者の前で発表を行いました。学会への参加によって得た情報や知識を活かして、今後も業務に取り組んでいきます。

一般演題発表

分科会	タイトル	演者
看護・看護教育	A病棟における身体拘束ゼロに向けての第一歩	臼井 えり
	看護倫理を語ることが出来る病棟作りへの取り組み	石崎 裕子
	救急病棟の先輩看護師が考える新人看護師の夜勤指導の現状と夜勤開始前に必要な能力	飯島 貴子
	病棟看護師が実践する放射線皮膚炎ケアの実態調査	是川志津子
リハビリ	患児のベッド転落防止の取り組み	足立 周平
	休日リハビリテーション稼働による平日への影響	堀之内達也
地域医療・連携・福祉	地域との連携の仕組みを構築した医療連携・患者支援センターでの取り組み	稲垣 麦野
臨床検査	インシデントレポート解析とその効果	諏訪 直生
栄養	がんに対する「食事調整シート」の普及にむけて	松原 弘樹
薬剤	救急医療における、薬剤師の可能性を模索して	田村 未来
	入院前の持参薬確認が病棟薬剤師の業務へ及ぼす影響	佐野 陽子
経営・管理	医師事務作業補助者による術前検査予約の代行と医師の負担軽減の検証	宇野 理恵
	法定施設手続事務の一覧化について	瓜生 裕二
	診療報酬改定に係る事務の改善について	瓜生 裕二
	市民に向けた情報発信の取り組みと効果について	吉樂 実里

※この「医療センター News」のバックナンバーは当院ホームページでご覧いただけます。

当院の受診の流れ



研修医のつぶやき



初期臨床研修医1年 田中 悠子

「人の役に立つ人になってね。」と幼少の頃祖母に言われたことを今でも鮮明に覚えています。そして社会人になった今、人の役に立つことが殊の外難しいということを痛感しています。

例えば、患者さんや医療従事者間でのコミュニケーション、採血、点滴等の組み方、手技など…。毎日が新鮮で充実しつつも、未熟な自分が情けなくなる瞬間もあります。一方で、上級医の仕事を見ていると医師として経験を積んでいけば、確実に人の役に立てることを体感しています。

先日BLS（一次救命処置）の講習会に同期の研修医一同で参加してきました。BLSとは特殊な医療器具を用いずに救命する処置のことを示します。成人と小児の模型を使って心肺蘇生法とAEDの使い方を実践形式の講義で学ぶことができました。繰り返し何度も練習し、実

際にそういった患者さんに遭遇したときにすばやく行動出来るようになったと思います。

BLSだけでなくひとつずつ着実に手技を自分のものにして、患者さんに寄り添いながら人の役に立てる医師になれるよう研修医一同精一杯頑張りますのでよろしくお願い致します。



当院は省エネに取り組んでおります。ご協力お願いいたします。

医療を学ぼう！ in 図書館

船橋市西図書館で、毎月医療講演会と相談会を開催しています。ぜひご参加ください。



第25回 10月「スギ花粉症治療最前線」

近年患者数の増えている、花粉症の検査から新しい治療について話がありました。会場から多くの質問があり、皆さんの関心の高さがうかがえました。

耳鼻咽喉科部長 小林皇一

第26回 11月「慢性閉塞性肺疾患のはなし」

喫煙によっておこる疾患ですが、あまり知られていません。タバコの害と禁煙の必要性が話され、皆さん熱心に聞いていました。

呼吸器内科部長 中村祐之

第27回 12月「心臓血管外科の病気のはなし」

突然に起こる心臓血管の病気の基礎と、手術療法について詳しく話がありました。

心臓血管外科副部長 櫻井 学

今後の予定 申し込み 先着50名 14:00～15:00

日 程	演 題	演 者
1月17日(木)	頭痛のはなし	脳神経外科部長 内藤博道
2月21日(木)	知っておきたい“むくみ”のはなし	皮膚科部長 宮川健彦
3月16日(土)	乳がんにならないために、なってしまった時の心得	乳腺外科副部長 青柳智義

予定は変更する場合がありますので、広報ふなばしや図書館HP等でご確認ください。

講演会、相談会申し込み先： 西図書館 船橋市西船1-20-50 TEL 047-431-4385

毎月1日(1月は4日) 9:30より受付

お知らせ 北図書館で出張講演会を開催します。ぜひご参加ください。

2月3日(日) 14:00～15:30 場所：二和公民館(北図書館併設) 要申し込み 先着50名

「胃がん・肝がん・膵がんに対する腹腔鏡手術の実際とチームでの取り組み」 消化器外科部長 夏目俊之

申し込み先：北図書館 047-448-4899 1月4日(金) 9:30より受付

医療連携・患者支援センター 石川晴子

第36回 公開医療講座

「小児の夜尿症について (おねしょと夜尿症は別のもの)」を開催しました



10月11日(木)に市民文化創造館(きららホール)にて、木谷豊小児科副部長を演者とした公開医療講座を開催しました。講演では、夜尿症の原因や症状、治療方法などについて、わかりやすく解説を行いました。

夜尿症の診療に携わる木谷副部長は、「夜尿症は遺伝的要因に基づく睡眠時の排尿機構の発達障害であり、心因や育て方はあくまで二次的なものです。直接命に関わる病気ではないため受診が遅れがちですが、患者さんご本人のメンタルヘルスに悪影響を及ぼすため、気になったら医療機関へご相談ください。また、治療にあたっては、叱らないこと、焦らないことが重要です。」と語りました。

当日ご来場いただいた方々の中には、お子さんやお孫さんのためにお話を聞きに来られた方も多く、熱心に耳を傾けていらっしゃる姿が印象的でした。

公開医療講座 次回のお知らせ

第37回 口の中にできものありませんか

日時 1月24日(木) 14:30～15:30

会場 市民文化創造館(きらら)

参加費 無料

講師 村野彰行(歯科口腔外科部長)

定員 当日先着190人

問い合わせ 医事課

病院ボランティア(患者さんの案内や図書の整理など)を募集しています。詳しくは、医事課まで

救命救急センター24時 —誤嚥！あなたができること—

今回は誤嚥についてご説明します。皆さんは口にいっぱいものを入れたり、急いで飲んだりしたときにむせたことはありませんか？この食べ物や飲み物が気管に入ってしまうことを「誤嚥」といいます。誤嚥の要因には、脳卒中の後遺症やパーキンソン病などの神経疾患、加齢による喉の運動障害や感覚障害などがあります。

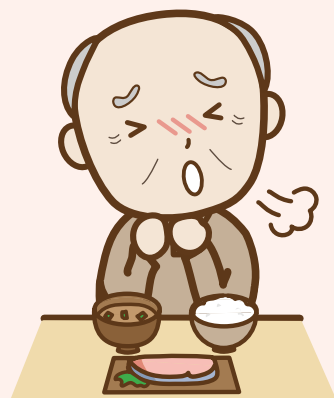
誤嚥は肺炎の原因となります。また喉から肺までの空気の通り道（気道）が詰まると窒息になります。窒息すると両手で喉をつかむようないわゆる「窒息のサイン」を呈します。声が出ている間は咳を促してください。完全に詰まると声が出なくなりますので、すぐに助けを呼んでください。この状態で異物がとれないと、すぐに意識がなくなります。そうなったらすぐ横にして胸骨圧迫を行ってください。詳しい方法を無料で学びたい方は、「船橋市ホームペー

ジ 救命講習開催のお知らせ」で検索してください。

誤嚥の最大の対処法は予防です。冬はお餅や豆など窒息の原因になる食べ物の季節です。あらかじめ小さく切る、1度に頬張らない、とろみをつける、口にものが入っているときに話しかけないことも予防になります。小さなお子さんは何でも口に入れてしまうので、手の届くところに口に入る大きさのものを置かないことも大切です。

あなたの知識と勇気で「いのち」を救えます！

救急科部長 角地祐幸



平成30年度 成果発表会を開催



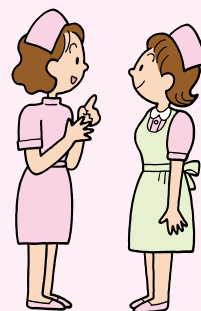
平成30年12月5日（水）に成果発表会が開催され、年度当初に設定した目標に対する成果を部署ごとに披露しました。今年度は、一般撮影における更衣の必要性について、ぬいぐるみを用いて撮影した写真（右）を使用し、患者さんに分かりやすく伝える工夫を行った放射線技術科が最優秀賞を受賞しました。



平成30年度 募集概要

看護補助者(パート)・クラーク(パート)募集

- 資格／特になし
 - 時給／ 1,050円（看護補助者）、900円（クラーク）
- ※詳細は当院ホームページ（<http://www.mmc.funabashi.chiba.jp>）をご覧ください。



外来担当医師一覧表

平成31年1月1日現在

			月	火	水	木	金	備考
内科	新患	患	石井 清文	多部田弘士	下山 立志	中村俊介/稲垣雅行	鈴木友里/葉山奈美	新患の(木)は 第1・3・5中村(俊)、第2・4稲垣
	呼吸器		中村 祐之 鈴木 友里	天野 寛之 中村 純	葉山 奈美 藤田 哲雄	中村 祐之 中村 純	藤田 哲雄 天野 寛之	消化器の(月)は 第1・3水木、第2・4・5関
	消化器		水本英明/関 厚佳 東郷 聖子	安藤 健 関 厚佳 ^{※1} /古賀邦林 ^{※2}	小林照宗/東郷聖子 安藤 健 ^{※1} /藤井渚夕 ^{※2}	古賀 邦林 水本英明 ^{※1} /石井清文 ^{※2}	藤井 渚夕 小林 照宗	消化器の(水)は 第1・3小林、第2・4・5東郷
	代謝	謝	岩岡 秀明	下山 立志	中村 俊介	下山 立志	岩岡 秀明	消化器の※1は午前、※2は午後
	腫瘍	臓			平野 聡		平野 聡	消化器の下段は原則、消化器内科から の予約患者のみ
腎リウマチ・膠原病			清水 英樹				清水 英樹	リウマチ・膠原病は完全予約制
心臓血管センター	循環器科	予約	稲垣 雅行 内山 貴史	降旗修太/黒岩信行 沖野 晋一	内山貴史/稲垣雅行 岩田 曜	黒岩 信行 丘 慎清	福澤 茂光 石脇 光	(水) 第1・3・5稲垣、第2・4内山
	新患		沖野晋一/石脇 光	丘 慎清	芝山納恵瑠/内山貴史	降旗 修太	岩田 曜/黒岩信行	(月) 沖野/石脇、(火) 降旗/黒岩、 (水) 芝山/内山、(金) 岩田/黒岩は隔週
心臓血管外科			〔手術日〕	高原善治/茂木健司	〔手術日〕		〔手術日〕	午後1:30～ ※第2高原 ※第1・3・4・5茂木
緩和ケア内科					〔交替医〕	〔交替医〕		午前9:00～ 予約患者のみ
精神科	新患			宇田川雅彦	宇田川雅彦	榎原 雅代		新患は事前予約が必要(電話可)
	再来		宇田川雅彦	宇田川雅彦	宇田川雅彦	榎原 雅代		
小児科			力石 浩志 甲斐 千明	佐藤 純一 飯島 雄太	丹羽 淳子 斉藤 裕子	木谷 豊 竹本 直輝	伊賀 裕子 坂井 美穂	
外科	新患(消化器・一般)		〔交替医〕	〔交替医〕	〔交替医〕	〔交替医〕	〔交替医〕	
	消化器・一般		宮崎 彰成 吉岡 隆文	夏目 俊之 佐藤やよい	丸山 尚嗣 野手 洋雅	田中 元修 貝沼 修	宮崎 彰成 松本 泰典	(水) 丸山 午前のみ (水) 吉原 午後のみ
	乳腺		南村 真紀 青柳 智義	吉原ちさと 松崎 弘志	玉貴 圭甲 青柳 智義 吉原ちさと		松崎 弘志 南村 真紀 玉貴 圭甲	
整形外科			〔交替医〕 秋本 浩二 〔手術日〕	池之上純男 高瀬 完 榎本 隆宏	〔交替医〕 鮫田 寛明 染谷 幸男	〔交替医〕 小山 慶太 〔手術日〕	〔交替医〕 沖松 翔 〔手術日〕	(火)・(水) は予約患者のみ (紹介状ありは可)
形成外科			〔手術日〕	内田 龍志 花野 舞	内田 龍志 花野 舞	葉丸 洋秋 〔手術日〕	内田 龍志 花野 舞	(金) 内田(午後)は乳房再建外来
脳神経外科			内藤 博道 新美 淳 根本 文夫	〔交替医〕 〔手術日〕	畑山 和己 森脇 拓也 内藤 博道	安間 芳秀 〔交替医〕 〔手術日〕	根本 文夫 畑山 和己	(月) 根本、(水) 内藤 (金) 畑山は新患患者のみ (木) 安間は第1・3・5
脳神経内科				鶴岡 淳		宗像 紳	東 美和	(木)第2・4 午後2:00～ 予約患者のみ (金)午前9:30～ 予約患者のみ
呼吸器外科			一ノ瀬修二 荒牧 直	一ノ瀬修二 荒牧 直	〔手術日〕	一ノ瀬修二 木下 孔明 荒牧 直	〔手術日〕	
皮膚科			井関 梢 奥山智香子	大田 玲奈 奥山智香子 宮川 健彦	井関 梢 奥山智香子 大田 玲奈	井関 梢 奥山智香子 宮川 健彦	井関 梢 奥山智香子	
泌尿器科			武田 英男 〔交替医〕	佐藤 信夫 齋藤 心平	佐藤 信夫 〔交替医〕	佐藤 信夫 金 尚志	佐藤 信夫 日野 大地	
産婦人科			齊藤 俊雄 大村 涼子	大村 涼子 森 麻子 〔手術日〕	齊藤 俊雄 〔交替医〕 〔手術日〕	佐々木直樹 〔交替医〕	佐々木直樹 森 麻子 〔手術日〕	
眼科			小林 悠里 久我 紘子	松枝 美文 〔手術日〕	上原 七生 松枝 美文	小林 悠里 小林 晋二	久我 紘子 小林 晋二	(火)・(水) は予約患者のみ (紹介状ありは可)
耳鼻いんこう科			小林 皇一 兼坂 寛子	〔交替医〕 〔手術日〕	小林 皇一 兼坂 寛子	〔手術日〕	小林 皇一 宮田 卓	
放射線治療科			有賀 隆	有賀 隆 荒木 仁	金澤 亜希 荒木 仁	小池 直義 荒木 仁	有賀 隆	完全予約制
麻酔科			〔交替医〕	〔交替医〕	〔交替医〕	〔交替医〕	〔交替医〕	午前9:00～11:00 予約患者のみ
歯科口腔外科			村野 彰行	高原 利和	村野 彰行	村野 彰行	村野 彰行	
特殊外来	女性専用(内科)				古池 織恵			予約患者のみ
	腎臓内科(内科)			梶原麻実子				午後1:30～ 予約患者のみ(電話可)
	脳神経内科(内科)				能勢裕里江			午後1:30～ 予約患者のみ(電話可)
	ステントグラフト外来(心外)			櫻井 学				午後1:30～
	ペースメーカー外来				〔交替医〕			午後1:00～
	小児循環器(小児)	佐藤 純一 齊藤裕子/竹本直輝	村社 歩美	佐藤 純一				午後 予約患者のみ (火)は第2・4
	小児神経(小児)		高梨潤一(月1回)			牧野道子(月1回)/ 内山 薫(月2回)		午後 予約患者のみ
	小児腎臓(小児)					三浦健一郎(月1回)		午後 予約患者のみ
	小児アレルギー(小児)						下条直樹/薄井 香	月2回 午前9:00～予約患者のみ
小児外科(外科)						小松 秀吾		午前のみ(午後手術)

担当医師は、状況により変更することがありますので、受診の際には当院のホームページ等でご確認ください。

※特殊外来の小児循環器、小児神経、小児腎臓、小児アレルギーの予約および予約変更は午後2時から4時の間に小児科外来へ電話してください。